

[illegible]

久留米西高等学校 年間授業計画

令和6年度（3学年用）

教科 芸術 科目 美術Ⅲ

教 科： 芸術 科 目： 美術Ⅲ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： 関谷 美保子

使用教科書： （ 高校生の美術3（日本文教出版） ）

教科 芸術 の目標：

【知 識 ・ 技 能】美術の基礎的な知識・技能を身に付け、作品作りに取り組む。

【思考力・判断力・表現力】 画材にふさわしい表現で作品をつくる。自ら思考・判断・表現することを目指す。

【主体的に学習に取り組む態度】 基礎的な課題に興味をもち、応用課題においては主体的に学習に取り組む。

科目 美術Ⅲ の目標： 身につけた知識・技能を応用し、自分の表現を追求する。

【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
①美術の基礎的な知識・技能を身に付け、作品作りに取り組む。 ②画材や道具の特性を理解し、作品制作に生かす。	①画材にふさわしい表現で作品をつくる。 ②自ら思考・判断・表現する。	①基礎的な課題に興味をもち、応用課題においては主体的に学習に取り組む。 ②工夫を凝らし、自分の表現を追求する。

	単 元	表 現			鑑 賞	指導項目・内容	知	思	主	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ	映						
1 学 期	色鉛筆画	○			○	○36色の色鉛筆を使い模写の練習 ○写真を1まい、自由に模写	○	○	○	12
	鉛筆の使い方 手のデッサン	○	○		○	○2，3学期に行う自由課題政策に向けて計画を立てる。	○	○	○	14
2 学 期	自由課題	○	○	○	○		○	○	○	14
		○	○	○	○		○	○	○	14
3 学 期	自由課題	○	○	○	○			○	○	16

久留米西高等学校 年間授業計画

令和6年度（3学年用） 教科 教科 芸術 科目 工芸Ⅲ

教科： 芸術 科目： 工芸Ⅲ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： 松村世津子

使用教科書： （ 工芸Ⅱ（日本文教出版） ）

教科 芸術 の目標：

【知識・技能】素材の特性、制作技法の理論を理解し、制作に必要な技能を身に付ける。

【思考力・判断力・表現力】 理解と理論的な根拠を持って、制作を進める。

【主体的に学習に取り組む態度】 創意工夫をし、より完成度の高い作品を目指す。

科目 工芸Ⅲ の目標：

【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
クラフトバンドの編み方の基本を習得、習熟し、意図した表現ができるようにする。	クラフトバンドの性質を生かし、編み方を理解し、理論的根拠に基づいて制作をする。	創意工夫をし、より完成度の高い作品を目指す。

	単元	表現 身 社 鑑賞		指導項目・内容	知	思	主	配 当 時 数
1 学 期	クラフトバンド工芸 基本	○		・紙テープの編み方の基本を習得しながら、課題の作品(マルシェバッグ)を編む。 ・必要なテープの長さや本数を計算して切り分ける。 ・基本技法(角底、3本なわ編み、追いかけ編み、取っ手)を習得する。 ①角底の接着、編み込み ②丸底の編み込み ③差しヒモ ④追いかけ編み ⑤ねじり編み ⑥3本縄編み ⑦取っ手	○	○	○	22
2 学 期	クラフトバンド工芸 応用	○		・各自の好みに合わせて選択したものまたは、自分でデザインしたものを編む。 ・配色や大きさを工夫する。 ・完成度の高い仕上がりになるよう、じっくり製作する。	○	○	○	36
3 学 期	講評と鑑賞		○	完成した作品の講評を行う。 作品を鑑賞し、相互に感想を述べ合う。		○	○	12

令和6年度（3学年用） 教科 教科 芸術 科目 保育のためのピアノ

教科： 芸術 科目： 保育のためのピアノ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： 清水真優

使用教科書： （ 改訂ポケットいっぱいのうた ）

教科 芸術 の目標：

【知識・技能】音楽の基礎的・基本的な知識技能を身に付け、演奏活動に取り組む。

【思考力・判断力・表現力】 曲にふさわしい表現を工夫しながら演奏する。

【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、保育の進路実現にむけて意欲的に活動する。

科目 保育のためのピアノ の目標：

【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
①音楽の基礎的・基本的な知識技能を身に付け、演奏活動に取り組む。 ②ト音譜表やヘ音譜表について理解して、読譜する。	①曲にふさわしい表現を工夫しながら演奏する。 ②良い演奏を追求し、発声や体の使い方を工夫して演奏する。	①曲の成立背景や構成などに興味をもち、主体的に学習に取り組む。 ②周りの人と協力しながら演奏活動に意欲的に取り組む。

	単元	表現			鑑賞	指導項目・内容	知	思	主	配 当 時 数
		歌	器	創						
1 学 期	ピアノ 演習	○	○			○バイエルを使用し、ト音記号、ヘ音記号の確認、読み方を理解する。 ○リズムの確認をし、練習する。 ○童謡の弾き歌いを行う。	○	○	○	14
	楽典	○		○		○拍子、音符の名前、長さ、割合を確認する。 ○楽譜を読む練習をする。	○		○	14
2 学 期	ピアノ 演習		○			○バイエルを使用し、ト音記号、ヘ音記号の確認、読み方を理解する。 ○リズムの確認をし、練習する。 ○童謡の弾き歌いを行う。	○		○	14
	模擬授業考察	○		○		○リトミック、手遊びなどの模擬授業の考案する。		○	○	14
3 学 期	ピアノ 演習		○			○バイエルを使用し、ト音記号、ヘ音記号の確認、読み方を理解する。 ○リズムの確認をし、練習する。 ○童謡の弾き歌いを行う。	○		○	8
	模擬授業					○リトミック、手遊びなどの模擬授業を行い、自己の活動を振り返る。	○	○	○	6

令和6年度（3学年用）

教科書道

科目硬筆書道

教科書道

科目硬筆書道

単位数2単位

対象学年組第3学年1組～6組

教科担当者1～6組大橋

使用教科書高校硬筆の練習

教科書道の目標

【知識・技能】日本と中国の文字の伝統と文化・書体の変遷を理解する。

【思考力・判断力・表現力】古典の価値について考え、筆脈の感覚・書風の特徴を判断して筆者の個性を表現する。

【主体的に学習に取り組む態度】作品を鑑賞し、書の変遷に関心をもち、表現においても意欲的に取り組む。

科目硬筆書道の目標

【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
・日本と中国の文字と書の伝統と文化・書体の変遷を理解する。 ・各書体特有の字形・線・質について理解する。	・古典の価値について考え、書のよさを味わう。 ・味わった美しさ・感性を豊かにし、作品の表現の違いを判断する。	・作品を鑑賞し、書の変遷や文化に関心をもち、表現において意欲的に取り組む。

	単元	指導項目・内容	知	思	主	配当 時数
1 学期	楷書の基本	・基本の点画 ・楷書の筆順 ・文字の構成	○		○	8
	諸文字の書式	・部首 ・旧字体と書写体 ・はがき・封筒	○		○	5
	定期考査					
	諸文字の書式	・便箋 ・ポスター			○	4
	行書の基本	・基本点画 ・楷書と比べて、流れや形の美しさを理解	○	○		4
	定期考査					
2 学期	行書 草書の基本	・楷書に近い行書、草書に近い行書の幅の広さ、点画の省略の仕方を部首別に研究 ・草書の基本点画 ・類似書体	○	○		20
	定期考査					
	かな	・片かな ・楷書に調和する平かな、行書の調和する平かな ・平かなの字源 ・連綿 ・変体がな	○	○		20
	定期考査					
3 学期	作品	・漢字とかなの調和 ・詩を書く		○	○	4
	作品	・散らし書き ・俳句、短歌		○	○	4
	定期考査					

